

シンポジウム「明日の大森山動物園を考える」



▲シンポジウムの様子

て欲しいという教育界からのご意見、動物園は市民が支えなければならないこと、観光拠点ともなる動物園は都市の魅力アップにもつながるなどの提言があった。

会場からは、子供たちに生と死、命の尊さを伝える場が少ない現代社会になって動物園は貴重な場所であり積極的な活動の展開を希望する声、親子が優しい気持ちで集える場になって欲しい、さらに動物園は平和のシンボルでもあり常に光り輝いて欲しいなど、市民からもたくさんの意見が寄せられ、会場が一体となったシンポジウムであった。

また、シンポジウムに先立ち、旭川市旭山動物園の小菅正夫園長が駆けつけてくれ「元気の良い動物園をつくるには」と題した基調講演をしていただき、動物園の魅力づくりのため、飼育職員のガイドや動物の能力を引き出すユニークな行動展示などが、スライド上映で紹介していただいた。



▲基調講演をする旭山動物園 小菅園長

条例抜粋

(理念)

第2条 動物園は、大森山の豊かな自然の中で、動物との出会いおよびふれあいを通して、市民のレクリエーションの場を提供することにより、自然および命の大切さについて学び、かつ、動物の命をつなぐ場を目指すものとする。

大森山動物園の進むべき道、あるべき姿(理念)が明らかになった今、私たちスタッフは新たな気持ちで、本条例の理念に沿いながら新しい一歩を踏み出します。動物園への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

平成 18 年 1 月 1 日施行